

地域医療支援病院の業務報告

	平成30年度	令和元年度
紹介率	91.0%	92.2%
逆紹介率	82.3%	83.4%
平均在院日数	18.5日	18.5日
病床利用率	70.2%	66.5%

地域連携室の活動状況(令和元年度)

かかわった入院	全入院患者の16.4%
かかわった退院	全入院患者の36.3%
相談件数	院内 2382件
	院外 2415件



徳山医師会病院だより



2020年 第48号
発行元 地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院
〒745-8510
周南市東山町6番28号
TEL 0834-31-2350
FAX 0834-31-1623
<http://www.tokuyamaishikai.com/>

新病院長 ご挨拶



当院は戦後間もない頃に地域の開業医が焼け残った医療器具や薬剤を持ち寄って、地域住民のための診療を始めたのがきっかけとなり、その後幾多の議論と困難を乗り越えて昭和41年に日本では唯一の完全オープンシステム運営の病院として開院しました。これは開業医が自院で診療中の患者さんの病態が悪化したときには自らが主治医となって入院させるシステムの病院です。

歴代の医師会長、病院長、登録医、病院スタッフは必要とされる診療内容の変化に柔軟に対応し努力してきました。その功績により地域住民から愛され、地域になくってはならない病院として成長をとげることができ、2001年には地域医療支援病院の指定を受け、2006年には医療機能評価の認定を受けております。

しかしながら最近では少子高齢化により増え続ける医療費と介護費用を抑制するために、国は過剰病床を削減して地域に於ける適切な医療体制を再編成しようとしております。今後は病院の役割分担と利用者のニーズに応じた適切な地域医療が求められております。

昨年発足した「周南ケアねっと」は大病院と開業医との間で医療・介護情報を連携させる目的で結成されました。皆様の御協力により、緊急時や入院時の迅速な判断に役立って、地域の医療の効率化が進む事を願っております。この周南地区は病院勤務医と開業医の連携がとても円滑に行われており、「かかりつけ医」が診察したあとで、直接入院させる病院があることは地域住民にとっては大変心強いことです。高齢化と核家族化が進むなかで独居老人や認知症ケアの問題に対しても当院の発足当時の理念を今一度思い起こし、信頼される「かかりつけ医」、安心して入院できる病院を目標としてスタッフ一同で頑張りたいと思っておりますので皆様の御協力を宜しくお願い致します。

徳山医師会病院 病院長 山本憲男

〈基本理念〉

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

〈基本方針〉

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。
当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

薬剤師の

おくすりいろいろ話

其の45

今年に入ってから一番の関心事と言えば「新型コロナウイルス感染症」ではないでしょうか。ウイルスには抗菌薬は効果がありません。抗ウイルス薬が必要となりますが、この文章を書いている時点ではまだその薬は見つかっていません。したがって、**感染する前の対策**が最も重要となります。



咳エチケットを守る、三密を避ける、など色々と対策が言われていますが、その中の一つで大切なのは**手洗い・手指消毒**になります。消毒に最も使われるのはアルコール(エタノール)ですが、消毒効果を発揮するには濃度設定が大切です。使用濃度としては60~90w/w%が適当ですが、70w/w%(消毒用エタノールの濃度である76.9~81.4vol%にほぼ等しい)において一般細菌に対して最も効果が高いとされています。90%近くまでの高濃度だとすぐに揮発してしまう(乾いてしまう)ため、殺菌効果を示す前に薬剤が無くなってしまいます。また、**手指消毒剤が無い場合でも、石けんと流水でしっかりと時間をかけて丁寧に手洗いをすること**でインフルエンザウイルスや新型コロナウイルスは除去されることもわかっています。

今回の新型コロナウイルスによるパンデミックが終息したとしても感染症がなくなるわけではありません。予防のためにできることは変わりませんので継続していきましょう一人ひとりが気を付けていくことが大切です。

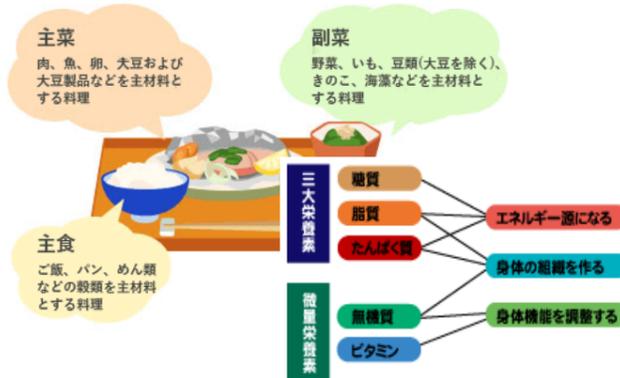


編集後記

新型コロナの影響で普段と同じ生活が送れない今、たくさんの情報に惑わされて、心やからだのバランスが崩れてきていませんか? テレビやインターネットなどの情報から離れる時間を作ったり、ちょっとからだを動かすことで、心やからだの疲れがとれ、免疫力を高めるので効果的です。みなさんは感染対策でどのような工夫をしていますか?

栄養関連ニュース

新型コロナウイルス感染症の対策として「**免疫力を高める**」ということが言われています。免疫細胞は、タンパク質、糖質、脂質、ミネラルなど様々な栄養素がまんべんなく働いてつくられます。それには、主食・主菜・副菜がきちんと揃った食事をバランスよく食べることが基本です。



また、免疫力を高めるために腸が重要な働きをしていることが明らかになっており腸の状態をよくすることがポイントになります。バランスの良い食事をする、規則正しく食事をとることで腸が活発に動きます。さらにヨーグルトなどの発酵食品や食物繊維、オリゴ糖などの栄養素は、腸内細菌叢を改善して免疫力を高めてくれますので積極的に摂るようにしましょう。

当院のMRI装置が 新しくなりました



当院のMRI装置がキヤノン製の最新機種に更新されることになりました。今まで使用していたのは平成17年に導入された1.5テスラの装置で、ソフトのバージョンアップを繰り返しながら、約15年間稼働していました。当初、更新は1.5テスラで最新のものに、という意見もありました。しかし、当院は開業医の共同利用施設としての役割を持っていることもあり、よりグレードの高い3テスラのMRIへの更新が決定しました。

搬出工事では、使い慣れた装置が解体されていき、普段見ることのない工事や、搬出作業に興味深く眺めていました。

しかし、最後クレーンに吊られ運び出される際には急に寂しさが込み上げてくると同時に、「15年間お疲れ様でした」という感謝の気持ちが大きくなりました。やはり長く使うと愛着がわくものですね。



4月19日、日曜日にMRIの搬入工事が行われました。搬出の際は寂しい気持ちがありましたが、やはり新しい装置がやってくると、期待感などで嬉しくなりますね。

今後はこの装置が周南地域の皆様の検査に力を発揮していくわけですが、そのためにも新しい装置で出来ることを勉強しながら、撮影プラン等のブラッシュアップを行い準備を進めていきます。



これが当院の新しいMRI装置「Vantage Galan 3T/Focus Edition」です。キヤノン製の最新装置で、その1号機が当院に導入されました。

AIによる最新技術を用いたノイズ除去機能も搭載され、きれいな画像が撮れるのはもちろんですが、それを従来よりも短時間で撮れるようになりました。これにより、検査画像の高画質化と検査時間の短縮を同時に実現でき、患者様の負担を軽減しながらもより良い検査が行えるようになりました。

実際に以前の装置で撮った画像と比較してみると、より細かくきれいに見えるようになってきていると共に、それを今までよりも短時間で撮像することができています。

また、現在あるニーズだけでなく、今後新たに発生するニーズにも対応できるよう、汎用画像診断装置ワークステーション「Vitrea」も導入されました。

他にも検査時の患者様の緊張や不安を和らげる工夫として、MRI装置の開口径が71cmと大きくなったことや、MRシアターの導入もあり、従来よりも快適に検査を受けていただく事ができるようになりましたので、検査を受けなければならなくなった際も安心して来院して頂けたらと思います。

このMRI装置が周南地域の皆様に広く長く貢献できるよう、放射線科一同、今後も努力していきたいと思っております。

